桑野塾

桑野塾 検索
http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

第54回

2019年
3月9日(土)
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 戸山キャンパス33号館 434号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。 参加無料
☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)
※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただけると助かります。
※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

サンクトペテルブルグでサーカスと漂流民を追う

報告者：大島 幹雄

サーカス博物館 ラザレンコのコスチューム

東洋学研究所正面

ロシアに眠る資料を掘り起こす——

第7回国際文化フォーラムサーカス・野外劇部門に招待され、「日露サーカス交流120年」の報告をした。このサーカス部会での他の報告者の報告内容をはじめ、このあとサンクトペテルブルグに滞在して見てきたもの、調査してきたことを報告する。

【前半】ストリートチルドレンを集めて運営しているウスプラサーカスで見た「ピロスマニの夢」について、去年設立90周年を迎えたサーカス博物館でじっくり調査することができたので、この博物館についてや、ここでの調査で明らかになった日本人芸人についてなどを報告。

【後半】文化元年（1804）に仙台の漂流民を連れて来日した遣日使節レザーノフ（1764-1807）が長崎で編纂した「日本語辞書増補版」。長年追い求めてきたこの辞書を東洋学研究所で閲覧することができた。わずかな時間であったが、このとき調査したことを報告する。

●大島 幹雄（おおしま みきお）
サーカスプロデューサー。著書に『サーカスと革命』（水声社）、
『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』（祥伝社）、
『サーカス学誕生』（せりか書房）など。

●問合せ・申込み：大島幹雄（おおしま・みきお） E-mail：izj00257@nifty.com ／ 電話：090-2207-8185